

春駒のうた (1986)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 109分

初公開日 1986/03/22

【解説】

宮川ひろの同名児童小説を神山征二郎が監督し映画化。松田昭三、神山魁三、石倉保志と神山が脚色を担当した。物語の舞台となる利根川上流の山村でオールロケを行っている。

星野圭治は昭和20年8月16日、父親の戦死公報が届いたその日に生まれた。祖父母の文三とカネに育てられた圭治だったが、小学校一年のとき小児マヒにかかり、右足が動かなくなってしまう。圭治は一年間入院し、そのあと村に戻ってくるが、子供たちに「びっこ」と言われ傷ついた。文三は分校の小林先生に詰め寄るが、先生はそれが原因で逃げ出してしまった。新学期になり新任教師の園田恵子が赴任、子供たちに自分は逃げ出さないと宣言する。子供たちは登校しない圭治を励まそうと、彼が描いた絵の展覧会を開くことにした。

【クレジット】

監督 神山征二郎

製作 野原嘉一郎

日沼富男

神山征二郎

原作 宮川ひろ

脚本 松田昭三

神山魁三

石倉保志

神山征二郎

撮影 南文憲

美術 春木章

編集 近藤光雄

音楽 針生正男

助監督 神山魁三

出演 田村高廣 Takahiro Tamura

二木てるみ

左幸子

樹木希林

前田吟

樋浦勉

香川京子

登坂清史

千木良かおり